



## 木育 ～みんなで愉しもう～ 認定こども園長万部マリア幼稚園

新園舎が建った時に大滝村からやってきた園庭のアロニアの実が色づいてきました。「食べられそうかな?」「いい色が出そうだね～」など眺める子どもたちからそんな声が聞こえています。今年がグミの実がたくさん実り、せっせと収穫しながら、パクツ! 「すっぱい!」「こっちの方が甘そう!」と見極めていた年長児。近くであんぐり口を開けて待つ年少児。時には手を紫色に染めながら、桑の実を採ったり、ジュンベリーの木にやってくる鳥を観察したり:築山のとっぺんにあるえんじゅの木は木陰を作ってくれる園庭の守り神。いつも子どもたちを見守ってくれています。木陰では、芝生の上で寝転がったり、絵本の読み聞かせをしたり、子どもたちにとって心地良い場所。木を身近に感じながら、過ごす日々です。今年度の幼稚園部のバス遠足は、森町にあるハルキ様の工場見学に行ってきました。森から切り出した樹木を木材に加工する様々な工程を五感をフル回転させながら、見て、聞いて、嗅いで、触れて、感じて、学んできたこと

は子どもたちだけではなく、私たち保育教諭にとっても貴重な時間でした。子どもたちが抱いた木に関する問いかけにも、一つ一つ丁寧に答えてくださった木育マイスターの方には感謝の気持ちでいっぱいです。木を身近に感じ、触れ合って、学んで、木とともに生きることの大切さを伝えていきながら、緑豊かな北海道から始まった木育活動を保育に取り入れ、SDGsとともにも子どもたちと一緒に今できることから始めていこうと思えます。



## 運動会がんばろうバイキング☆ いずみ保育園

いよいよ明日は運動会!今迄一生懸命に練習してきた子どもたちに、とても素敵なサプライズがありました。管理栄養士さんと調理スタッフさんで企画してくれた「運動会がんばろうバイキング」です。朝早くから準備してくださいましたメニューは、子どもたちの好きなものばかり! 「チョコサンド・ジャムサンド・ホットドッグ」「エビフライ・から揚げ・ポテト」「ブルコリーサラダは2種類の

味から選んでね」「デザートは、パイナップルとオレンジとぶどうゼリー」「豆乳スープもありますよ。」お皿を持って、目をキラキラさせて好きなものを選ぶ子どもたち。今日の給食でエネルギーはバッチリ!明日はきつと力を発揮してください。

先日も「お弁当給食」を外で食べたり、とうもろこしの皮剥きを手伝ったり:いずみ保育園らしい食育を進めて



います。いろいろな経験を通して食べる事の大切さをこれからも伝えていきたいと思っています。

## 『うれしい祖父母参観日』 さかえ保育所

さかえ保育所では、祖父母参観が行われました。クラス毎におゆうぎやペープサートを発表したり、一緒に簡単なおもちゃを作ったり遊びました。「おじいちゃんやおばあちゃんにみてもらいたい」という子どもたちのリクエストで、クラスで日頃練習していたものを発表したときは、緊張しながらも歌ったり踊ったり一所懸命に頑張る姿がカッコよかったです。また、シールを貼って作った魚で魚つり

をしたり、紙コップのコマを作って回したり、トイレトペーパーのロケットを作ったりとばしたり、おじいちゃんやおばあちゃんに手伝ってもらいながら、リラククスした表情で、それぞれ自分たちのお気に入りの色や形に仕上げていました。大好きなおじいちゃんおばあちゃんと、一緒に遊ぶことができて、ニコニコ笑顔の子どもたちとても楽しい時間を過ごせたようです。



# 写真で見る学校の様子

## 長万部高等学校

## 長万部中学校

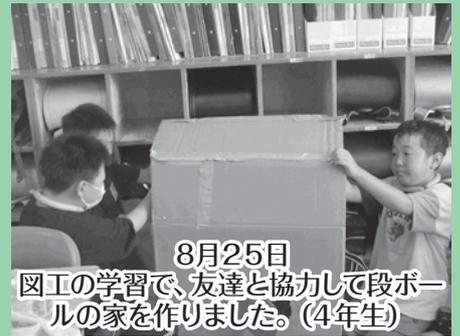
## 長万部小学校



9月1日  
北海道シェイクアウト参加



8月24日  
宿泊研修(2年生)



8月25日  
図工の学習で、友達と協力して段ボールの家を作りました。(4年生)



9月7日  
1日防災学校  
(地歴公民 液状化現象の実験)



8月28日  
校則を見直す授業(3年生)



8月31日  
体育「からだづくり運動」の学習で、様々なフライングの技に挑戦しました。(2年生)



9月7日  
1日防災学校  
(避難訓練・長万部町水災害避難啓動画視聴)



9月1日  
全道吹奏楽コンクール金賞受賞



9月4日  
学年レクでスライム作りに挑戦しました。(1年生)

## 楽しいから笑うのか、 笑うから楽しいのか

長万部高等学校校長

濱田 哲也

今年の5月にコロナがいわゆる5類に移行し、それ以降はほぼ平常の学校生活を送ることができました。約4年ぶりに、4年前に行われていた様々な活動を以前と同様に実施しようとしたが、4年の間に世の中は大いに変化し、以前の方法では対応できない事柄が数々起きてきました。そのような状況でも学校はいつもどおり生徒たちが、各教科・科目の学習に意欲的に取り組んでおり、また新しい行事等にも積極的に参加しています。

夏季休業中は登校する生徒が少なかったのですが、夏季休業が終わってまた生徒たちの元気な姿を見ることができ、嬉しく感じています。朝から友人同士がじゃれ合い笑い合っていたり、休み時間や昼休み、放課後に大きな声で笑い合っている姿を見ると学校が始まったと実感します。

そんな時ふと考えてしまうのが、生徒たちはなぜあのように笑うのかということです。楽しいことがたくさんあって仲のいい気心の知れた友だちとだからこそ楽しいのか、それとも笑うことで笑いが合っているのか、つまり「楽しいから笑うのか、笑うから楽しいのか」です。実際に笑ってみると楽しい気持ちになります。(※一人で笑っていると変な人に見えますので注意。)

「笑う門には福来る」という諺があります。これは「いつも笑い声が満ち、和気藹々とした家には、自然と幸福が巡ってくるものである」という意味です。「笑う」＝「楽しい」＝「幸福」という図式になります。今年の夏の高校野球で優勝した神奈川県慶応高校野球部は「エンジョイ・ベイスボール」を掲げています。緊張した場面でも笑顔でいることによって緊張がほぐれ、リラックスできて普段どおりのパフォーマンスが発揮できるという事例もあります。

生徒たちは楽しいから笑う、笑うことでまた自らと周りを楽しくさせていきます。このことはやがて幸せ(Well-being)を導びいていきます。